

令和3年度第1回住吉区区政会議

令和3年7月29日（木）

18時30分～20時00分

住吉区役所 4階 大会議室

【新熊（司会）】 ただいまより、令和3年度第1回住吉区区政会議を開催いたします。

本日はお忙しい中、区政会議に御出席をいただき、ありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます政策推進課の新熊と申します。よろしくお願いいたします。

それでは開催に当たりまして、住吉区長の平澤より御挨拶を申し上げます。

【平澤区長】 皆さん、こんにちは。区長の平澤です。平素より住吉区政に御理解、御協力をいただきまして、ありがとうございます。

本日は、今年度に入りまして、第1回の住吉区区政会議ということになります。もともと6月の下旬に予定をしていたのですけれども、コロナの感染拡大ということで、1か月延期をさせていただきました。させていただいたのですけれども、また感染が拡大してしまっているという現状ではございますけれども、感染防止をきっちり図れるようにアクリル板も用意いたしまして、グループディスカッションをしていただけるような形にさせていただいております。

いろいろ御意見も頂戴しているところですが、活発な議論を進めていけるようにということで、今回グループ分けをしてディスカッションという形にさせていただきました。忌憚のない御意見を頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

それでは、会議を始めるに当たりまして、皆様方へお願いがございます。

この区政会議は、条例に基づく会議となっております。後日、会議録等を公開いたします関係上、録音並びに写真撮影をさせていただきますので、御了承いただきますようお願いいたします。

傍聴の方はおられないですかね。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、会議開催中はマスクを常時着用していただくことと、また会議中、マイクを通して御発言いただく際には、できるだけマイクを口元から離して発言していただきますよう御協力をお願いいたします。

続きまして、市会議員の皆様におかれましては、条例第8条に「区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができる」と規定されているところでございます。

本日、お見えになられている市会議員の方々を御紹介させていただきます。

まず、伊藤議員。

【伊藤議員】 よろしくお願ひいたします。

【新熊（司会）】 井上議員。

【井上議員】 どうもお疲れさまでございます。

【新熊（司会）】 中田議員。

【中田議員】 よろしくお願ひいたします。

【新熊（司会）】 よろしくお願ひいたします。

ここで、本日の委員の出席の出席状況ですが、委員定数24名のところ、現在13名御出席いただいております。条例第7条によります定足数の2分の1以上を満たしていることを御報告させていただきます。

本日の区政会議は、新型コロナウイルス感染症対策として、議事を速やかに進行し、開催時間を極力短くさせていただきたいと考えております。

そのため、協議・報告事項につきましては、詳細な説明は割愛し、グループディスカッションを中心に進行させていただく形を取らせていただきます。

続きまして、お手元にお配りしております本日の資料ですが、右上、右肩に①から⑩まで配付資料番号をつけております。①から⑩までありますでしょうか。その下にカラーで「住吉区役所の情報発信について」というグループディスカッション用の参考資料をお配りしております。

またその下になりますが、別に「令和3年度区政会議に関するアンケート」の御依頼文と、アンケート用紙をお配りしております。こちらは最後のその他の事項でお願いさせていただきますと存じますので、よろしくお願ひいたします。

以上となりますが、配付資料④と⑤及び⑧と⑨につきましては、事前に資料のお送りができず、この場で初めて御提示させていただく資料となっております。

お配りしている資料に不足等はございませんでしょうか。

ないようですので、それでは、区政会議の議事の進行を松木議長にお願ひいたします。よろしくお願ひいたします。

【松木議長】 議長の松木です。このメンバーで最後の区政会議になりますけれども、

本日もよろしくお願ひいたします。

本日の会議は、20時までを予定しておりますけれども、できるだけスピーディーに進行したいと思っておりますので、御協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

では、早速ですが、議事に入ってまいります。

まずは、協議・報告事項になります。

司会の方からも先ほど御説明がありましたとおり、詳細な説明を割愛する形で御説明いただきまして、その後に御質問がありましたら、お答えいただくという流れで進めていきたいと思ひます。

では、よろしくお願ひいたします。

【長船政策推進課長】 政策推進課の長船でございます。

私の方より、協議・報告事項について一括して御説明いたします。

「令和2年度住吉区運営方針自己評価について」に関しまして、配付資料③を御確認ください。

「施策の選択と集中の全体像」での自己評価といたしまして、「1年間の取組成果と今後取り組みたいこと」。

『つながり・見守り・支えあい』を大切にした安全・安心に暮らせる住みよいまちの実現に向け、防災、地域福祉、子育て・教育などの経営課題に取り組んだ。

防災に関しては、水害ハザードマップの全戸配布をはじめ、区民の防災意識の向上に取り組む、大和川の浸水想定や避難情報の意味についての認知度が高まった。また、コロナ禍における避難所の在り方を踏まえた総合防災訓練の実施やコロナ関連物資の各町会への配備など、コロナ禍での災害時支援に取り組んだ。

地域福祉に関しては、地域での見守りシステムの構築や、複合的な課題を抱えた方の支援のためのつながる場の開催などにより、地域の社会資源のネットワークづくりを推進し、子育て・教育に関しては、「住吉区子育て世代包括支援センター はぐあっぷ」での相談対応や専門職のアウトリーチによる潜在的リスクの掘り起こしを行い、安心して暮らせる、子育てができるまちと感ずる区民の割合の増加につなげることができた。

新型コロナウイルス感染症の影響で行事や活動が制限を受けた中、新しい手法も取り入れながら取組を進めた。目標達成に至らなかった取組もあり、コロナ禍でも着実に実施できるよう手法に工夫を重ねて進めていく。

「解決すべき課題と今後の改善方向」。

地域防災力の向上、つながりづくりの促進、区政運営への住民参画に関して、区民の理解や認識が低下している。新型コロナウイルス感染症により、多くの行事や活動が中止・延期あるいは縮小したため、区の実施を周知する機会や場が減少したことも影響したと考えており、関連する事業の充実強化に加えて、コロナ禍でも事業目的を達成できるよう、実施に向けた工夫を行うとともに、区の実施内容の発信に力を入れていくとしております。

以降、各経営課題の御説明は割愛させていただき、これらの自己評価に対して、事前に委員の皆様から御意見を頂戴しており、配付資料④「令和2年度住吉区運営方針 自己評価に対する区政会議委員意見にかかる対応方針」に頂いた御意見とそれに対する区役所の対応方針を示しておりますので、御確認いただきますようお願いいたします。

また、配付資料⑤「住吉区区政会議委員評価シート回答結果」につきまして、委員の皆様より御提出いただきましたシートを取りまとめております。

今回の区政会議では、内容の分析結果まではお示しできませんでしたが、次回はお示しする予定となります。ひとまずの御報告となりますので、よろしくをお願いいたします。

次に、「住吉区地域福祉ビジョン Ver. 2.0（改訂版）」につきましては、6月に改訂いたしましたので、配付資料⑥にその概要をお示ししております。

また、「住吉区総合教育会議」、「防災専門会議」、「地域福祉専門会議」につきましては、配付資料⑦から⑨に開催内容をお示ししております。誠に勝手ではございますが、これらは、資料の配付をもって御報告に代えさせていただきます。

協議・報告事項は以上となります。どうぞ、よろしく申し上げます。

【松木議長】 ありがとうございました。

では、ただいまの内容につきまして、何か質問等はございませんでしょうか。

ぎゅっとまとめていただきましたけど、特に配付資料④の御意見に対して、対応方針が書かれている委員の方でなくても結構ですけれども、配付資料④でなくても結構なのですけれども、御質問や御意見ありましたら、よろしくをお願いいたします。

よろしいですか。ちょっと内容が多いので、少し見る時間を取りたいと思いますけど、もし特にならなければ次の議事に移っていきます。

よろしいでしょうか。

特に御質問がないようでしたら、続きましてグループディスカッションに入っていきたいと思っております。

では、進め方について、区役所より御説明をお願いいたします。

【新熊（司会）】 それでは、グループディスカッションにつきまして御説明いたします。

グループディスカッションでは、委員の皆様には活発な意見交換を行っていただき、頂いた御意見を参考に検討を行い、今後の事業推進に役立てていきたいと考えているところでございます。

それでは、配付資料⑩を御覧ください。

一番上にありますが、今回、テーマを「区民へ伝わる有効な情報発信について」とさせていただきます。

令和2年度住吉区運営方針のアウトカム指標の達成状況におきまして、「B 順調でない」となった事業の課題や今後の対応方向等では、区民への取組内容等の周知が十分でなく、今後は情報発信の強化・充実が必要とするものが多くありました。

そこで、区民の皆様には各事業の取組内容等を十分にお伝えするためには、どのようにしていけばよくなるのかを区政会議委員の皆様から、自由に御意見を出していただきたいと存じます。

なお、御参考として、区役所の情報発信についての資料をお配りしております。

次に、ディスカッションの進め方につきまして御説明いたします。区役所職員がファシリテーター役と書記役をさせていただきますので、発表役を委員の皆様から各グループ1名御選出いただきますよう、お願いいたします。

ファシリテーターの進行により、委員の皆様から順に意見を述べていただきまして、一巡した後、出された意見に対する意見や新たな意見等がありましたら、再度述べていただく方法とさせていただきますと思います。

また、グループディスカッションでは、質問をして区役所職員が答える形式ではなく、委員の皆様で自由な発想で意見を述べていただく場としたいと考えております。この意見交換を約35分間、設けさせていただきますと思います。

グループ内で出された御意見につきましては、書記役の職員が記録し、発表役の方から5分程度で簡潔に発表をお願いすることになります。

それでは、ファシリテーター役と書記役の方、席の方に移動していただけますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、これより19時20分までの35分程度意見交換を行っていただきます。終了5分前にアナウンスさせていただきますので、それでは意見交換をよろしくお願いいたします。

(グループディスカッション)

【新熊 (司会)】 それでは意見交換を終了いたします。

それではグループごとの発表に移っていきたいと思います。

まずはAグループから発表をお願いいたします。

【濱田委員】 Aグループの濱田です。よろしくお願いします。

Aグループの議論は、なかなかちょっとテーマが大きいので、話があっち行ったり、こっち行ったりというのが実際のところで、あっち行ったり、こっち行ったりしながら終わったのですが、やっぱり口々に出たのは、このコロナで非常にいろんな情報を地域でお伝えするのに困難が大きいと。回覧もなかなか回しにくいしみたいな話もあるし、訪問活動もしにくいというような話が一つは出てまいりました。

それから、ここに資料で出されていますので、いわゆるメディア、手法の類いがすごい種類がやはり多いなということ。例えば広報紙以外にもホームページもあるし、SNSだけでも、Facebookあるわ、Twitterはあるわ、YouTubeあるわ、Instagramあるわと、こうあって、見たことあるかといったら、多過ぎてあまり見てないというぐらいあるんですね。

ただ、よく見ると、それなりに特徴があって、得手不得手があって、広報紙は非常に広く配れるし、時間がなかったら、時間ができたときにゆっくり読めるというようなこともあるんですね。だけど、情報がどうしても2か月前に原稿締切りというサイクルで回っている関係で、即時の情報って、やっぱり出にくいというのがある。これは、だから悪いんじゃないくて、それぞれのメディア、ツールによってやっぱり特徴があるので、いいところを生かせるような少し整理が要るんじゃないかなというような話題に少しなっていました。

ただ、その中で1つ指摘があったのですが、障がいのある人にとって、やっぱり広報紙の点字版というのが唯一の情報源なんだと。そういうことについて、十分行き届いた配慮がされているのかという厳しい問題提起もございました。

それと、あと訪問活動、あるいは回覧という話も出ました、地域の掲示板。これは区役所が直接ではない部分も多いと思うんですが、そういったものも十分生かしながらできたらいいのかなということで、場面としては、つながりづくりということとともに、やっぱり防災の話が少し出てきました。

ですので、そういったどんな場面に生かしていくのかということと、どういう対象者にするのかという、そういう手法ごとのコンセプトを整理して、強みを生かせるいいなと

というような話をしておりました。

あとは、もうちょっと四方山話というか、突拍子もない話になったんですが、24時間ライブカメラみたいなのが世の中に結構あって、区役所も例えば住吉区のどこかの景色だけをずっと流しているんだけど、いざというときは職員さんがホワイトボードにぱっと字を書いて、カメラの前に登場して、今、こんなことが起こっています、皆さん、気をつけてくださいということを言う。それだったら、そんなに負担にならず、即時対応できるんじゃないかというような少し夢物語もして、話としては結構最後は盛り上がったように思います。

以上です。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

それでは次に、Bグループから発表をお願いいたします。

【大久保委員】 Bグループの大久保です。よろしくお願いします。

Bグループですけど、今のAグループと重なる部分はあると思いますが、ディスカッションしたことをお話しさせていただきます。

それぞれ今、現状の情報発信ということで、広報すみよしとか、区役所のホームページ、あとFacebookとか、いろいろ情報発信をする道具はあるんですけど、なかなかそれをどれだけ区民の皆さんが見ていただいて、また活用していただいているのかというと、甚だまだまだそんなに見てない人もあるんじゃないかというところで、その中でもやっぱり広報すみよしというのは、非常に重要な発信のツールではないかというところなんです。

じゃ、それをどういうふうにして見ていただくかというところで議論したところ、それぞれの区民の方にもメリットがあるような情報発信の仕方はないかということが一つですね。

例えば、広報すみよしを見てシールというか、3枚集めたら何かプレゼントがあるとか、そういったのがあったら、広報すみよしを見る機会も増えるんじゃないかとか。

あと年代別ですね。例えば中学校、高校生あたりのいろんな行事ごとをタイムリーに、ホットなニュースを2か月前に締め切るのではなくて、もっと今、ホットなニュースを見られると、やっぱり中学生、高校生あたりも見ていただくことも増えるんじゃないかと。いずれは、その子たちが住吉区にいて、大人になったときに、そのまま大人になっても見ていただくような流れというのが作れば、またこの広報すみよしの意義というのがよくなるんじゃないかなという話も出ています。

あと、その広報すみよしは一面で見たときに、インパクトのある工夫を今後もしていただければと。今も十分されていると思うんですけど、さらに、また見たいな、ちょっと見てみようかなみたいなの、やっぱりそういうところをさらに工夫していただければ、より情報発信を見ていただけるんじゃないかなということです。

あと地活協ですね。これもやっぱり非常に重要な各区民の皆さんに、情報を発信する一つの大きな役割をしているので、ただ、ただ今コロナ禍で、なかなかいろんな団体と接する機会がないので、非常に僕は残念であるんですけど、ここはやはりこれからも積極的にその地活協を使って発信していくというところですね。

その中で回覧板ですね。回覧板も結構やっぱり見ていただくことがあるので、回覧板あたりにもしっかりと、これからも引き続きいろんな情報発信していければ、いろんなことを区民の皆さんにも理解していただけるんじゃないかと。

あと掲示板ですね。掲示板も新しく作ったら非常に費用もかかりますので、なかなか大変ですけど、でも既存の掲示板をもう少し整備していただいて、より見やすくしていただければ、非常に助かると。結構掲示板を、お年寄りの方とか結構見られるというお話も頂いたんですよ。なので、ぜひそのあたりのところは、非常に発信の重要なところかなと思いますので、ここはお願いしたいかなと思っています。

あと、区役所の方、広報すみよしとか、区役所のホームページとか、なかなかどこに悩みを聞いたらいいかというのが分かっている人、分かっている人が結構いるんじゃないかなと。だから、何でも相談したらいい、総合案内室というか、一面で、ここに行ったら、とにかく何でも聞いてよみたいなの、というところを大きく全面的に、みんなが分かるようにしてくれれば、広報すみよしでもいいですし、ホームページでもいいですし、何でもここに連絡くださいとすれば、そこからまたいろんな各関係部署というところに流れていく仕組みができれば、より皆さんが活用してくれるんじゃないかなと思っています。

ただただ、区役所的に何でもかんでも大変だと思うんですけど、まずは1回受けていただくというところを、そういう誰もが気軽に、区役所でも、身近な、もっとより近い何でも相談できるようなところを、そういう場ができればいいのかなと、分かりやすいのかなと思っています。

あとはもうSNSとか、そういうのは今からどんどんそういった形で、この発信というのが広がっていますので、これはいろいろ工夫をしていただいて、さらに活用していただければ、いろんな発信ができるんじゃないかなと思っています。

以上です。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

最後に、Cグループから発表をお願いいたします。

【原田委員】 Cグループの原田です。うちのディスカッションの報告をさせていただきます。

まずは、アンケート調査がどのように行われたのかというところから話になりました。結局、アンケートに答えてくれた人自体は興味がある人で、興味のある人の中で情報がちゃんと伝わってないというような、半分もいってないというのは、やっぱりこれは由々しき問題だなというところから話がスタートしました。

そもそも情報が欲しいと思えるきっかけづくりであったりとか、区行政に対してのお得感というものを、もっとアピールしていったいいんじゃないだろうか。情報を取りに来るきっかけづくりというのが必要じゃないのかなという話になりました。

そこで、まずはニーズの発掘というものが、区としても大事なんじゃないだろうか。町会長さんなどからの情報収集したりとか、皆さんがどんな情報が欲しいと思っているのかなど、そういった調査みたいな、そういった作業も大事なんじゃないだろうか。

実際、情報をもらっている方としても、後々になって、ああ、こんな情報あったんやとか思うことも結構あるので、なかなか探しに行かないとたどり着かないということが多いので、もっと情報が分かりやすく、取りやすいような考えが必要なんじゃないのかなど。お得感、お得情報をメインに、もっともっとホームページに打ち出していったもいいんじゃないだろうかというような話になりました。

そのためにも、ホームページのレイアウトというものをもう少し考えていったいいんじゃないのかな。強化月間みたいなものを開いて、例えばこういう人がホームページによく来ているとか、こういった人は逆に来ていない、こういった世代はあまりホームページ見てないというのが分かるようであれば、そういった人向けに、例えば若い人が見てないんだというのであれば、若いクリエイターの方をお願いして、そういった若い世代が興味を持つようなものを作ってみたり、レイアウトにしてみたりだったりとか、ほかの区がやっているいいところというのを、ちょっとお借りしてみたりというのも大事なのかなど。

あとは、堺市の方でハニワ課長というのが結構話題になっているということなので、そういう発信力のある人みたいなものを見つけてきたりとか、そういった方の力を借りるというようなことも大事なのかなど。そういった意味では、すみちゃんのキャラクターを

もう少し押し出して、何か中心に発信ができるような仕組みというのがあるかもしれないのかなというような話になりました。

SNSの発信には、やっぱり楽しさであったりとか、エンターテインメント性というのが必要なんじゃないだろうか。もう少しそういったところをうまく活用できないかな。例えばホームページに出ているお店であったりとか、広告を出しているところの割引情報が、毎日替わりで変わると。これを見た人の先着100名はアイスクリーム20%引きですよというのがあれば、それをまず見にホームページに入ってくる人もいないだろうか。まずは、入ってくるという数を増やさないと、意味がないのかな。不公平がないように、住吉区が入っているお店が順番に、そういった割引情報が出せるというのを広報しながら、お互いがメリットがあるような形のもの、そういったものもあればいいのかな。エンターテインメント性、楽しさというものをもっとホームページの中に作っていただけるといいのかなというような意見が出ました。

以上です。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。皆様、貴重な御意見、どうもありがとうございました。

これで、グループディスカッションを終わりたいと思います。

頂いた御意見から、今後の施策や事業に反映できるものは検討させていただき、反映した際には、区政会議での報告や広報紙、ホームページ等に掲載させていただく等の対応をさせていただきます。

多数の貴重な御意見を頂きまして、本当にありがとうございました。

それでは引き続きまして、その他の事項に入りますので、職員の皆さんは元の位置にお戻りください。また、議長、副議長につきましても、前の席の方にお戻りください。

それでは松木議長、よろしく願いいたします。

【松木議長】 それでは、その他の事項に入ります。区役所から説明をお願いいたします。

【新熊（司会）】 それでは、配付資料①、次第を御覧ください。次第の5番「その他」の事項につきまして御説明申し上げます。

まず1点目の「第2回住吉区区政会議」ですが、次回、令和3年10月26日火曜日の午後6時30分から開催を予定しております。

なお、今年度は区政会議委員の皆様、改選がございますため、本日が最後の会議となり

まず区政会議委員の方々から、一言だけお言葉を頂きたいと存じます。

急ではございますが、松木議長、一言お願いいたします。

【松木議長】 松木です。2期目なので4年間、議長の役割担当をさせていただきました。結構不慣れな仕事だったので、不手際なところも多かったんじゃないかなと思っておりますので、その点についてはこの場を借りてお詫びを申し上げます。

ただ、この4年間でいろいろ変えていただいたところもあるかなと思ひまして、今日もそうだったんですけど、グループディスカッションを取り入れていただいて、委員の方々が御自分の意見を言っていたような機会をより増やすことができたことは、よかつたんじゃないかなというふうに思っております。

4年間、どうもありがとうございました。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。続きまして、山下副議長。

【山下副議長】 地域活動協議会から代表で出させていただきました山下でございます。

私自身も、この区政会議に出席させていただきました、いろいろ勉強させていただきました。今後も、地域のために尽力してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。続きまして、岡本委員。

【岡本委員】 何やかんや言いもって4年たってしまいました。いろいろと住吉区の内部のこと、苦労話なんかを見せていただいて、区民の皆様方のことにいささかちょっと目を向ける、より目を向けさせていただいたこと、ありがたく思っております。本日はありがとうございました。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。続きまして、北原委員。

【北原委員】 北原です。4年間、社会福祉協議会の代表で来ていましたんですけど、なかなかよう発言もできず、いろいろ勉強不足で何とかやっていたのですが、皆さんのおかげで、多少は分かったことがあります。今後とも、またよろしく願いします。ありがとうございました。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。続きまして、小嶋委員。

【小嶋委員】 民生委員の小嶋です。本当に勉強させていただいて、ありがたかったと。区政でこんなふうに住民の意見を取り入れられるんだというのが、よく分かりました。また今後とも勉強もしてまいりたいと思ひますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。続きまして、野村委員。

【野村委員】 お世話になりました。障がい者団体から参りました。視覚障がいのことでいろいろお話しさせていただいて、先ほども点字ブロック敷いたらええとか、そんなので言ってもらえたので、少しは理解していただけたかなと思います。

それから、振り返ったら、こちらでも区役所の中でも、点字ブロックの上に自転車が置かれていたりとか、そういうのも点字ブロックの色を変えていただいたりとか、それから我孫子の方でも、大分、不法駐輪が減りまして、以前よりは随分歩きやすくなったかなと思います。お世話になりました。今後とも、どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。続きまして、濱田委員。

【濱田委員】 4年間、非常にお世話になりました。いろいろ意見をと言われたら、文句をいっぱい言ったような気がするんですけど、区役所の職員さんは非常に、昔なんかから思えば、すごく大変な状況の中で頑張っておられるというのは重々理解はしているんですけど、あまり差し障りのないことだけ言っても値打ちないしなと思って、ちょっといろいろと申し上げたり、アンケートにはいろいろ書いたりしたんですけどね。どれだけのお役に立てたかよく分かりませんが、これからも区政会議、頑張って盛り立てていただけたら、ありがたいというふうに思います。以上です。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。続きまして、原田委員。

【原田委員】 4年間、どうもいろいろとお世話になりました。あまり気の利いたことも言えずに、お役に立てたかどうか分からないんですけど、まずはこういうふうに、いろいろと区についての意見交換がされているというようなことを、まずは僕は職場でちゃんと伝えていきたいなど。自分の子供にこういった会があって、こういうふうに、勝手に決まっているんじゃないよというようなことは伝えていくことはできるかなと思います。いろいろとお世話になりました。どうも、ありがとうございます。これからも頑張ってください。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。続きまして、前川委員。

【前川委員】 前川です。お世話になりました。私のここの仕事は、黙っていることです。黙っていることというのは、みんなの意見を保証されたいから、自分ばかりしゃべったらあかんというようなことを思っています。でもやっぱりみんな、きちんと議論をして、それで少しずつ変えられることもあったかなと思います。その点ではよかったかなと思います。

ますけども、大きいところでは変わってないよね。質問は委員がして行政が答える、この関係では、住民がやっている意味がないと思います。それだったら議会があるんだから、議会に任せたらいい。我々、市民がわざわざ出てくる必要もないんじゃないかなというのが私の意見で、そういうふうなことがもっと進むように願っております。以上です。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。最後に、山崎委員。

【山崎委員】 山崎です。この4年間、いろいろとありがとうございました。私の意見について、防災とか、浸水の高さとか、電信柱のところとか、掲示板のところに掲示するようなことをしていただきましたし、防犯のことに対してもいろいろと取り組んでいただきました。

あと、このグループディスカッションを私のアイデアで、こうやって本当に区政会議委員同士話し合っ、区の問題に取り組んでいくということ、こうやって場所をつくっていただきました。ありがとうございます。ただもう一つ、ちょっと足りないのは、私はやっぱりこの区政会議委員の方と一緒に、行政の区役所の職員さんと一緒に、ともにこの住吉区をよくしていくという趣旨で、こういうグループディスカッションをやっていただきたかったなど、ちょっとその辺が残念に思います。

あと区政会議委員になったもう一つの目標は、LGBTのことについて皆さんに知っていただくということもさせていただきましたけれども、まだまだちょっと私自身の力不足の状態で、知られてきたんですけども、なかなか4年前に比べたらどうなのかなという感じの反省する部分があります。

今期で区政会議委員の方が離れるという感じなので、次の区政会議委員の方がこうやって、今期で終わられる方の意見を引き継いで、もっともっとよりよい住吉区にさせていただきますよう、よろしくをお願いします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

なお、本日は御欠席されておりますが、有村委員、霜野委員、友永委員、中西委員、平澤委員、森委員におかれましても、最後となります。

これまでの間、区政会議の運営に御尽力いただき、誠にありがとうございました。今後とも、住吉区政の推進に御協力いただきますよう、お願いいたします。

続きまして、次第の「その他」の2点目「各会議開催日程」ですが、第1回総合教育会議は、書いていませんが、令和3年8月6日金曜日開催予定となっております。また第2回住吉区地域福祉専門会議は令和3年9月16日木曜日に、また第2回住吉区防災専門会

議は令和3年10月27日水曜日に開催を予定しておりますので、御連絡いたします。

一番最後に、令和3年度「区政会議に関するアンケートについて」ということで、依頼文とアンケート用紙をお配りさせていただいております。こちらは、前回の区政会議で御依頼した内容と同様のアンケートとなっておりますが、今年度分のアンケートとなっております。今年度、委員改選の年度である関係上、評価の質の確保の観点から、旧任期委員を対象として、大阪市全体的に旧の任期の方に対してアンケートを実施させていただくものとなっております。

つきましては、皆様には大変お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、お配りしておりますアンケートを御記入の上、8月20日金曜日までに担当へお送りいただきますよう、よろしくお願いいたします。メールでの送信を御希望される方がおられましたら、アンケートのデータをお送りいたしますので、また担当まで御連絡いただきますようお願いいたします。

説明は以上となります。

【松木議長】 それでは、ここで本日御出席いただいております議員より一言お願いしたいと思います。

伊藤議員、お願いいたします。

【伊藤議員】 皆様、お疲れさまでした。先ほどこっちに来る前にニュースで、コロナが非常に全国的にまた増えてきているのを見て、非常にちょっと不安な気持ちでこっちに来たんですけども、しっかりと感染対策をしていただいて開催していただき、たくさん有意義なお話を聞かせていただき、本当にありがとうございます。

今日は広報紙だったりとか、情報発信という話が主だったと思うんですけど、すごく難しいことだと思います。年代別だったりとか、人それぞれ本当に多種多様で難しいと思うんですけど、ほかの区のいいところを盗むというのもとても取り入れやすくて、とても成功しやすいのかなと思うので、いいところはどんどん盗んでいただければなと思います。私も市会でいい情報があれば、どんどん住吉区に持って帰ってきますので、これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【松木議長】 ありがとうございました。では、井上議員、お願いいたします。

【井上議員】 本日は区政委員の皆様方、職員の皆さん、長時間の会議、本当にお疲れさまでございました。

今日は区政会議のディスカッションのテーマが情報発信ということで、本当に貴重な皆

さんの御意見を聞かせていただきました。

私、たまたま今月号の広報を持ってきているんですけども、1面はすごくインパクトがあって、引きつけるものだというふうに、個人の感想ですけども思っているんです。ただ、あくまで個人の感想ですよ。開いたら、やっぱりちょっと中身がごちゃごちゃしている印象を受ける、行政の広報ですから致し方ない部分はあると思うんですけど、やっぱりこういう媒体というのは強弱と申しますか、選択と集中と申しますか、大変苦勞して作っていただいているのは、もう重々承知しているんですけども、もうちょっと取っつきやすいような媒体にさせていただきたいなという、あくまで個人の感想でございますので。そういった私、毎回申し上げているんですけども、区政会議が開かれた後は、こういう議論がありましたという記事が載るんですけども、毎回載せてほしいんです。区政会議というのが、区民の中に区政会議があるということをごだれだけの方が知っているかという話なんですよ。やっぱり区政会議というのがあって、身近なことをいろいろ提案できるんですよ、議論できるんですよ、こういう場があるんだということをやっぱり広報してほしいんですよ。それを見て、私も区政委員になってみたいとか、傍聴してみたいとかいう方が増えれば、それに越したことはないと思いますので、やっぱり紙面の関係があると思うんですけども、毎回載せないで浸透していかないんじゃないかなというふうに思っています。それが1点です。

最後に2点目は、コロナの関係の記事。この間、ずっと私、拝読してますので、ずっと情報載せていただいているんですけど、8月号もちゃんと載っているんですけども、これを見て、こうしたらいいんだ、5月17日から予約が始まって、コールセンターに電話したらいいんだなど。でもずっと朝から晩までかけているけど、つながらへんとか、議員のところには、そんな相談ばかりだったんですよ、5月、6月、この間。インターネットもできへんし、どうしたらいいんやという、高齢者の方で接種を希望するけど、どうしたらいいか分からないという方たちに、どうアプローチするかという視点がちょっとない。これはオール大阪の問題なんですけど、住吉区だけの問題じゃないんですけども、そういう方にどうアプローチしたらいいのかという視点を、ぜひ行政としては、私は検討していただきたいなというふうに思っています。

そういう意味では、私はAグループの議論をちょっと聞かせていただいたときに、吉田区長のときに地域名簿を作りましたよね。あのときに住吉区は24行政区の中で、相当先進的だったわけですよ。せっかく地域名簿があるわけですから、まさに今、もうすぐまた非

常事態になるでしょう、これ。有事なんですよ、今まさに。今、まん延防止だけれども、平時じゃなくて有事なんですね。この間、もう断続的に有事になっているわけですから、その名簿を活用して、ワクチンの関係で困ったことはないですかというような一声かけるとか、そういう訓練を、せっかく名簿を作ったんだから、こういう有事のときにそういう訓練をしておかないと、大和川が決壊したとか、南海トラフが来たとか、そういうときにその名簿を有効に活用することができないと思います。日常的にその名簿を活用する訓練を、ぜひしていただきたいなということを最後に申し上げて発言にします。以上です。

【松木議長】 ありがとうございます。では、中田議員お願いいたします。

【中田議員】 どうも皆さん、お疲れさまでございます。また、退任される委員の方、本当にお疲れさまでございました。

私の方からは、地域の方でやっぱり市民相談を受けたりとか、町会長さんとかお会いする機会があります。その中でおっしゃってるのが、コロナ禍でやっぱり地域行事がなくなってきている、大変心配だと。人間の関わりが薄い現代社会において、さらに薄くなっているということで、結束力が弱ってしまっている。実際そうだと思います。そんな御相談をよく頂きますし、地域の方からもお耳に届いた意見をお聞かせいただくことがございます。

話は情報発信のお話になるわけですがけれども、そういうときだからこそ、発信を努めてやっていかないといけないと思います。多分、全国のどこの自治体も、この問題で悩んでいると思います。いい解決策はあるようで、やっぱり実際ないです。1つは、もう地域のみんな、特にここに集まった区役所の職員の方、このメンバーの方が中心になって、やっぱり発信していこうという、そういう意思が大事なかなと思います。どこの自治体を見ても、ホームページを見ても、同じような作りだし、同じようなことが載ってて、どこを見ても一緒だと。だったら、ちょっと中身を変えて、先ほどCチームの方、原田さんがおっしゃっていましたが、すみちゃんのキャラクターを使って、イメージ的に戦略的に、とにかく興味を持ってもらうというか、内容も大事ですけど、取っかかりは興味を持ってやっていくような、そういう仕掛けも住吉区ならではの手法を使ってやっていければ、興味を持ってもらえれば中に入り込んで、こういった会議ももっともっと傍聴人の方も来られたりとか、活発化していくのではないかなと個人的には思っております。

先ほど、くどい話にはなりますけれども、コロナ禍の後のどういうふう立ち上げていくかというのが、全国的な問題だと思いますので、しっかり住吉区選出の議員として力を合

わせて、お力になることはしっかりやってまいる決意ですので、これからもどうぞ、よろしくお願ひいたします。今日はどうも、ありがとうございました。

【松木議長】 ありがとうございました。最後に、区長より一言お願ひいたします。

【平澤区長】 本日、活発な御議論、どうもありがとうございました。また、本日をもって退任される委員の皆様、この間4年間、大変お世話になりまして、また貴重な御意見を頂きまして、本当にありがとうございました。

本日は情報発信ということでグループディスカッションをしていただいて、私もちょっと横でいろいろ聞かせていただいていたんですけども、非常に活発な御意見を頂けたかなと思っております。この間、コロナということで、会議時間を短くするといった工夫もしてきたこともありまして、なかなか皆さんの御意見を聞く機会がなく、うまく取れなかったかなという点は、私も反省をしているところです。また、委員のアンケートの中でも、なかなか意見が活発に出てないなというふうな御指摘もございましたので、今後の区政会議の運営におきましては、できるだけ活発な御意見が出るような形で運営を図ってまいりたいと考えております。

また、情報発信に関しましては、区としてはいろんな広報ツールを使いまして、精いっぱい発信はしているんですけども、なかなか伝わっていないということがやっぱり我々が課題だと認識しておりましたし、今日も御議論の中でも、そういった点が非常にいろんな御指摘を頂いて、また新たなアイデアもたくさん頂きましたので、一つ一つできることからやっていくという姿勢で我々も取り組んでまいりたいと考えております。

この間、区政委員の皆様方から頂いた御意見、区政に小さいものでも生かせるものも若干あるんですけども、なかなかそういったことも伝わっていないのかなというふうな思いもがございますので、やはり情報発信が非常に重要ですので、広報紙であるとか、ホームページに限らず、いわゆる口コミでありますとか、掲示板、回覧板、そういったいろいろな手法、特徴を捉まえながら工夫をして行政の取組が伝わるように、そしてまた区民の皆様とこういうふうなディスカッションを通じてニーズも把握をして、よりよい住吉区を作っていくような取組を今後とも進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。今日は、どうもありがとうございました。

【野村委員】 視覚障がい野村ですけど、区長さんをお願いします。今回、緊急自粛でまた出るかもしれないので、一言言わせてください。

私は視覚障がい一人暮らしです。だから、コロナワクチンのときも大変困りましたし、

防災も先ほどここで言わせてもらいましたけど、要支援の名簿は今、一番先に、よその区よりも先に登録させて、新しく先進的にということで、要支援者名簿に登録を一番先にしておりますが、いまだに誰一人来てもらったことはありません。コロナワクチンのときも何も援助はありませんでした。

先ほど井上議員がおっしゃったように、ぜひ早急にそういうシステムをつくっていただきたいし、私、要支援の登録してあるんですけど、いまだに誰一人、災害時で台風のときも誰一人来てもらえませんでした。毎日、不安を抱えています。ぜひ、深刻にお考えいただきたいと思います。最後に言わせていただきました。申し訳ありません。

【平澤区長】 区長の平澤です。野村委員におかれましては、非常に御不安をおかけして、大変に申し訳なかったと思っております。実際に支援の必要な方に対しては、行政としてしっかり支援を提供していかなければならないと考えておりますので、今後、今日、御指摘いただいたものを含めまして、今日の御意見を受け止めて取組をしっかりと進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

【松木議長】 野村委員、非常に貴重な御意見、本当にありがとうございました。ぜひ検討をお願いできればと思います。

では、これで全ての議事は終了いたしました。

委員の皆様には、議事進行への御協力、誠にありがとうございました。

【新熊（司会）】 松木議長、どうもありがとうございました。

これで、令和3年度第1回住吉区区政会議を終了いたします。本日は長時間にわたり、皆様、どうもありがとうございました。

— 了 —